

1. スポーツ推進計画(改定版)(2019～2023)の概要について

①策定(改定)時期・計画期間

○策定(改定)時期:平成26年(2014年)2月策定(令和元年(2019年)7月改定)

○計画期間:平成25年度(2013年度)～令和5年度(2023年度)

※冬季オリパラ招致の活動停止に伴い、次期計画の内容に変更が生じたことを踏まえ、計画期間を1年延長

②施策体系(改定後)

【基本理念】

～スポーツの力でさっぽろの「未来」をつくる～
スポーツ元気都市さっぽろ

目標1 スポーツの力で「市民」がかがやく

市民が地域で「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに関り、心身の健康増進、生きがいに満ちた生き方を目指します

目標2 スポーツの力で「さっぽろ」をかえる

スポーツの力によって、社会の課題を解決したり、まちを活性化させたりすることで、より活力のある「さっぽろ」を目指します。

目標3 スポーツの力で「世界」へつながる

世界が憧れるまちを目指し、冬季オリンピック・パラリンピックの招致や、国際大会の開催などを通じてウインタースポーツ拠点都市としてのブランドを高め、その魅力を発信し、世界につながることを目指します。

2. 成果指標と目標数値

成果指標		改定版策定時	実績値	目標値	
		H29年度 (2017年度)	R5年度 (2023年度)	R5年度 (2023年度)	(参考:R15年度) (2033年度)
①スポーツ実施率	20歳以上・週1回以上	56.4%	60.2%	65.0%	70.0%
	障がい者・20歳以上・週1回以上	43.7%	59.7%	50.0%	60.0%
②ウインタースポーツ実施率	18歳～49歳・年1回以上	20.1%	20.9%	25.0%	30.0%
③直接スポーツ観戦率	18歳以上・年1回以上	43.6%	46.1%	50.0%	50.0%
④ウインタースポーツ目的の来札外国人観光客数(1月～3月)		175千人	129千人※1	98千人※2	—

※1:数値算出の根拠としていた調査が終了し、算出方法を変更しているため、参考数値。

※2:新型コロナの影響を踏まえ、R2年度に250千人から下方修正

【参考:第2期札幌市スポーツ推進計画で新たに設定した成果指標のR5年度の状況】

成果指標		実績値(参考)		目標値
		R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)	R15年度 (2033年度)
スポーツ目的の来札観光客数	道外・海外	236千人	654千人	1,000千人
スマイル・サポーターズ登録者数		1,070人	1,173人	2,000人
強化指定選手に選出されるアスリートの育成数		12人(延べ)	33人(延べ) ※R4、R5年度の累計	50人(延べ)

3. 15の施策の実施結果

【R5年度(2023年度)自己評価集計(再掲を除く)】

自己評価		基準
◎	39	当初の予定通り実施できたもの
○	36	概ね予定通り実施できたもの
▲	8	予定通り実施できなかったもの又は計画最終年度において事業化に至らなかったもの
—	2	外的要因等により実施しないこととしたもの又は規模を大幅に縮小したもの

【自己評価状況の推移(再掲を除く)】

※割合については、少数第2位を四捨五入しており、その関係で合計が100%にならない場合がある。

自己評価	R元年度 (2019年度)		R2年度 (2020年度)		R3年度 (2021年度)		R4年度 (2022年度)		R5年度 (2023年度)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
◎	32	37.6%	19	22.4%	22	25.9%	32	37.6%	39	45.9%
○	42	49.4%	40	47.1%	40	47.1%	39	45.9%	36	42.4%
▲	5	5.9%	1	1.2%	1	1.2%	6	7.1%	8	9.4%
—	6	7.1%	25	29.4%	22	25.9%	8	9.4%	2	2.4%
◎及び○の割合	87.1%		69.4%		72.9%		83.5%		88.2%	
◎及び○の割合(分母から一を除く)	93.7%		98.3%		98.4%		92.2%		90.4%	

○実施結果について

※詳細は参考資料を参照

- 計画期間内に新型コロナウイルス感染症の流行があり、それに伴う行動制限の実施などの社会情勢等の影響で、事業によっては、中止や内容の縮小が必要となる等、行動制限等の実施期間以降にわたっても、実施に大きな支障が生じたものもあった。
- そうした中でも、最終的には、計画に記載しているもののうち、約9割については、予定通り又は概ね予定通り実施することができたと考えている。
- 一方、当初の予定通りに実施できなかったものも1割程度あり、これらについては、改定版の策定当時の環境等の変化や第2期計画の方向性等も踏まえながら、引き続き、検討・実施が必要なものについては、第2期計画の取組を推進していく中で、実現を目指していく。

4. 成果指標と目標数値の状況について

1-① スポーツ実施率(20歳以上、週1回以上)

〈現状〉

- ・現行計画の改定時の数値(H29年度:56.4%)から概ね横ばいで推移してきたが、直近(R5)は、60.2%とやや上昇した。

〈分析〉

(1) 年代別スポーツ実施率

- ・仕事や育児等に忙しいと想定される20~50歳代の実施率いずれも50%台。特に30歳代は他の世代と比べて、4%以上低い。
- ・逆に60歳代以上は実施率が65%を超えており、70歳以上は、3/4を超える率となっている。

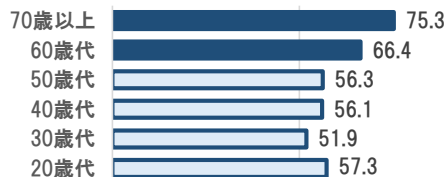
(2) 種目別スポーツ実施率

- ・「ウォーキング・散歩」といった軽い運動や「トレーニング」などの一人でも気軽にできる運動の実施率が高い。

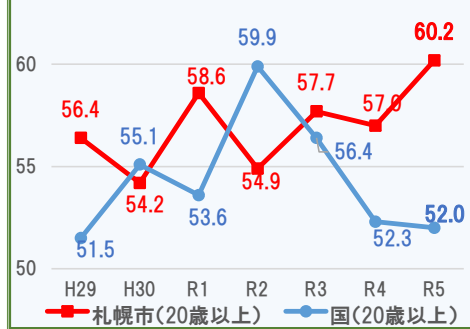
〈課題〉

- ・「ウォーキング・散歩」等の屋外での軽い運動の機会が制限される積雪期間の運動・スポーツ機会の確保や環境整備。
- ・仕事や子育て等に忙しい世代に向けた取組。

【年代別スポーツ実施率(R5年度)】



【スポーツ実施率(週1回以上)】



【参考:週3回・年1回以上実施率の国との比較】

	R5	週3回	年1回以上
札幌市(20歳以上)		30.3%	85.4%
国(20歳以上)		30.3%	76.2%

【種目別スポーツ実施率(年1回以上)】

種目	R3	R4	R5
ウォーキング、散歩	62.4%	59.1%	65.0%
トレーニング	27.5%	23.4%	37.1%
体操(エアロビクス、ラジオ体操など含む)	22.8%	22.8%	20.4%
自転車・サイクリング	20.0%	16.5%	17.5%
キャンプ、海水浴	8.7%	7.5%	10.7%
スキー	7.5%	5.5%	9.1%
ランニング(ジョギング、マラソン)	9.6%	6.8%	8.3%

1-② スポーツ実施率(障がいのある方・20歳以上、週1回以上)

〈現状〉

- ・H30年度以降、概ね50%台前半で推移してきたが、R5年度は、60%弱まで上昇した。

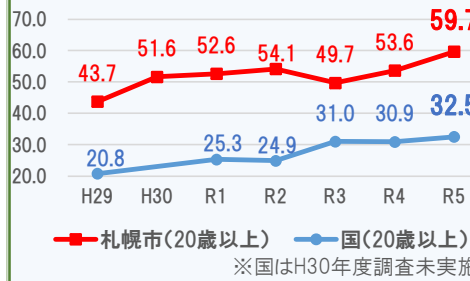
〈分析〉

- ・H29.9月から、市立札幌みなみの杜高等支援学校(南区真駒内)の体育館において、障がい者スポーツ専用の学校開放を開始するなどの取組により、H30年度以降の高い水準の維持や向上につながってきたものと考えられる。

〈課題〉

- ・国と比較しても高い水準で推移している一方、より運動・スポーツを行いたいという意向のある方が多く、障がい者スポーツの実施環境についても、改善の余地があると考えられるため、障がい者スポーツ実施にあたっての環境整備や体験会などのきっかけづくりの取組などにも、より一層、取り組んでいく必要がある。

【障がい者スポーツ実施率(週1回以上)】



2 ウィンタースポーツ実施率(18~49歳、年1回以上)

〈現状〉

- ・H29年度以降、計画の成果指標である18~49歳の実施率は20%前後でほぼ横ばい。

〈分析〉

(1) 年代別ウィンタースポーツ実施率

- ・20歳以上の全年代の実施率は10%強で推移してきたが、R5年度は、13.2%とやや上昇した。
- ・また、通常のスポーツ実施率とは異なり、40歳代以下の実施率が高い。

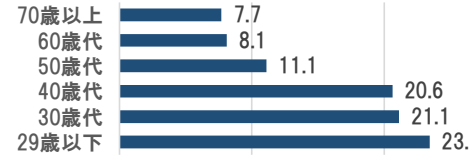
(2) 種目別ウィンタースポーツ実施率

- ・「スキー」「スノーボード」「スケート」の順に実施率が高い。

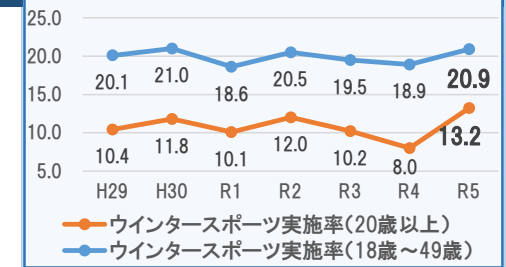
〈課題〉

- ・経済的負担の軽減や身近な場所で気軽に実施できる環境の整備、情報発信など、実施の阻害要因解消に向けた取組の展開。

【年代別ウィンタースポーツ実施率】



【ウィンタースポーツ実施率(年1回以上)】



【参考:スポーツをしている人のうち、ウインタースポーツを実施(年1回)している人の割合】

R5	週1回以上スポーツをしている人のうち、ウインタースポーツを実施(年1回以上)している人の割合	年1回以上スポーツをしている人のうち、ウインタースポーツを実施(年1回以上)している人の割合
18~49歳	38.0%	24.2%
20歳以上	21.9%	15.4%

【種目別ウィンタースポーツ実施率】

種目	R3	R4	R5
スキー	7.5%	5.5%	9.1%
スノーボード	3.0%	1.2%	2.1%
スケート	0.9%	1.1%	1.5%
カーリング	0.1%	0.1%	0.3%
アイスホッケー	0.0%	0.1%	0.2%
その他	0.3%	1.1%	3.0%

3 直接スポーツ観戦率(年1回以上)

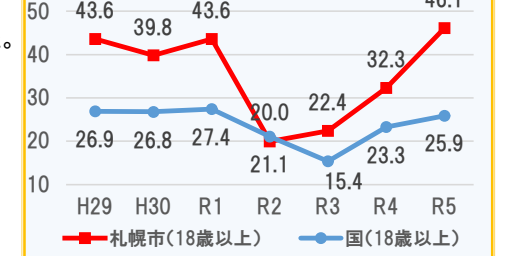
〈現状・分析〉

- ・R2年度以降は新型コロナウイルスによる無観客開催や人数制限等の影響で、従前からほぼ半減していた。
- ・R5年度は、それらの制限の緩和等により、観戦率が回復したものと考えられる。

〈課題〉

- ・札幌を本拠地とするプロスポーツチームなどと連携した観戦機会の創出や、市民のニーズに応じたスポーツ観戦のきっかけづくりなどの取組が必要。

【直接スポーツ観戦率(年1回)】



4 ウィンタースポーツ目的の来札外国人観光客数(1~3月)

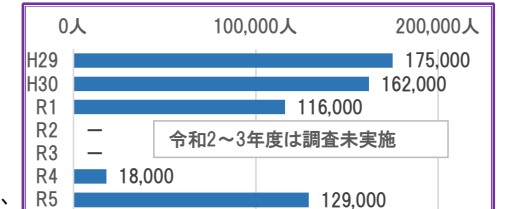
〈現状・分析〉

- ・R5年度は、入国制限等が緩和されているが、従前の水準までは戻っておらず、回復途上の段階と推測される。

〈課題〉

- ・来札外国人観光客の目的やニーズの変化も想定されるため、多様な目的やニーズに応じた、スポーツを切り口とした観光コンテンツの造成や、スポーツツーリズムの取組の推進が必要。
- ・なお、第2期計画では、外国人に加え、道外客も対象とし、時期も通年とした指標設定としている。

【ウィンタースポーツ目的の来札外国人客数(1~3月)】



※数値算出の根拠としていた調査が終了し、算出方法を変更しているため、R5年度は参考数値。